



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月6日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社  
コード番号 5660 URL <http://www.shinko-wire.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河瀬 昌博  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 吉田 裕彦

TEL 06-6411-1051

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,238	11.5	129		108		89	
2020年3月期第1四半期	7,051	0.4	30		39		32	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 39百万円 ( %) 2020年3月期第1四半期 61百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	15.07	
2020年3月期第1四半期	5.55	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	40,194	19,481	48.5
2020年3月期	39,418	19,639	49.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 19,481百万円 2020年3月期 19,639百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		20.00		20.00	40.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績見通しについては、新型コロナウイルスの感染拡大等による業績への影響が現段階では見通せないため、未定といたします。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	5,912,999 株	2020年3月期	5,912,999 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,271 株	2020年3月期	1,181 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	5,911,750 株	2020年3月期1Q	5,912,127 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大による急激な景気の低迷により、厳しい状況となりました。日本国内においても同様に経済活動が大きく制限され、厳しい状況で推移しました。

このような状況のなか、当社では徹底したコスト削減による業績維持に努めたものの、販売環境が各国の新型コロナウイルス感染拡大等の影響により急速に悪化し、またコスト面でも資材価格や運送費等の値上がりを受け一段と厳しい環境となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,238百万円と前年同期に比べ813百万円の減収となり、営業損失、経常損失はそれぞれ129百万円（前年同期は30百万円の損失）、108百万円（前年同期は39百万円の損失）となりました。また親会社株主に帰属する四半期純損失は89百万円（前年同期は32百万円の損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント毎の経営成績は次のとおりです。

#### <特殊鋼線関連事業>

(P C関連製品) 公共事業関連では、新設橋梁の減少やP C鋼材の使用量の少ない補修・補強分野の増加等の厳しい状況が継続しましたが、納入前倒し案件があったため、販売数量は横ばいとなりました。

一方で民間事業関連では、前年度までであったプロジェクト案件の終了や新型コロナウイルス感染拡大による工事遅れの発生により、販売数量は減少となりました。

P C関連製品全体としては、販売数量・売上高ともに前年同期に比べ減少となりました。

(ばね・特殊線関連製品) 自動車向けの弁ばね用鋼線（オイルテンパー線）およびステンレス鋼線は、新型コロナウイルス感染拡大により、販売数量が大幅に減少したため、ばね特殊線関連製品全体としては、販売数量・売上高ともに前年同期に比べ減少となりました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は3,317百万円と前年同期に比べ702百万円減収となり、セグメント損失は30百万円と前年同期に比べ140百万円の減益となりました。

#### <鋼索関連事業>

新型コロナウイルス感染拡大により、国内外のエレベーターやクレーン等の機械分野向け販売数量が減少となりました。加えて、国内においても海外製品の流入増の影響により土建・建築分野向け販売が減少したため、鋼索関連事業全体としては販売数量・売上高ともに前年同期に比べ減少となりました。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は2,606百万円と前年同期に比べ234百万円減収となり、セグメント損失は52百万円（前年同期は33百万円の損失）となりました。

#### <エンジニアリング関連事業>

交通・施設分野および土木・橋梁分野向け製品は案件が増加し、建築分野向け製品は大型案件の納入があり、売上高は前年同期に比べ増加となりました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は296百万円と前年同期に比べ122百万円増収となり、セグメント損失は59百万円（前年同期は119百万円の損失）となりました。

#### <その他>

不動産関連事業の売上高、セグメント利益はそれぞれ16百万円、12百万円と前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、775百万円増加の40,194百万円となりました。これは主として電子記録債権の増加によるものです。

負債は、932百万円増加の20,712百万円となりました。これは主として長期借入金の増加、賞与引当金の減少によるものです。

純資産は、157百万円減少の19,481百万円となりました。これは主として利益剰余金の減少によるものです。また、自己資本比率は48.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大等による業績への影響が現段階では見通せないため、未定といたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,986	2,936
受取手形及び売掛金	5,507	4,717
電子記録債権	3,018	4,329
商品及び製品	4,071	4,358
仕掛品	3,096	3,125
原材料及び貯蔵品	1,573	1,564
その他	644	647
流動資産合計	20,898	21,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,967	2,971
機械装置及び運搬具（純額）	5,325	5,230
工具、器具及び備品（純額）	120	122
土地	5,774	5,774
リース資産（純額）	10	9
建設仮勘定	85	96
有形固定資産合計	14,283	14,204
無形固定資産	237	215
投資その他の資産		
投資有価証券	1,444	1,524
退職給付に係る資産	1,073	1,088
繰延税金資産	1,310	1,315
その他	200	196
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	3,999	4,095
固定資産合計	18,520	18,515
資産合計	39,418	40,194

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,539	2,251
短期借入金	5,642	5,721
リース債務	3	3
1年内償還予定の社債	215	215
未払費用	933	941
未払法人税等	333	36
賞与引当金	592	234
設備関係支払手形	12	21
その他	654	818
流動負債合計	10,926	10,242
固定負債		
社債	1,622	1,515
長期借入金	2,418	4,066
リース債務	9	8
役員退職慰労引当金	7	5
環境対策引当金	99	93
退職給付に係る負債	4,594	4,679
その他	101	101
固定負債合計	8,852	10,469
負債合計	19,779	20,712
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	8,171	8,171
利益剰余金	2,982	2,775
自己株式	△1	△1
株主資本合計	19,215	19,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	210	256
為替換算調整勘定	136	138
退職給付に係る調整累計額	77	78
その他の包括利益累計額合計	424	474
純資産合計	19,639	19,481
負債純資産合計	39,418	40,194

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	7,051	6,238
売上原価	5,877	5,278
売上総利益	1,174	959
販売費及び一般管理費	1,205	1,089
営業損失(△)	△30	△129
営業外収益		
受取利息	13	10
受取配当金	32	27
持分法による投資利益	—	9
固定資産賃貸料	10	10
その他	2	3
営業外収益合計	57	62
営業外費用		
支払利息	11	12
持分法による投資損失	2	—
出向者負担金	19	15
その他	32	12
営業外費用合計	67	40
経常損失(△)	△39	△108
税金等調整前四半期純損失(△)	△39	△108
法人税、住民税及び事業税	0	6
法人税等調整額	△7	△26
法人税等合計	△6	△19
四半期純損失(△)	△32	△89
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△32	△89



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△32	△89
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	46
為替換算調整勘定	0	△1
退職給付に係る調整額	△4	1
持分法適用会社に対する持分相当額	3	3
その他の包括利益合計	△28	49
四半期包括利益	△61	△39
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△61	△39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,020	2,840	174	7,035	16	7,051	—	7,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高	92	39	0	132	—	132	△132	—
計	4,112	2,880	175	7,167	16	7,184	△132	7,051
セグメント損益	109	△33	△119	△43	12	△30	—	△30

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損失であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,317	2,606	296	6,221	16	6,238	—	6,238
セグメント間の内部売上高 又は振替高	82	28	0	111	—	111	△111	—
計	3,400	2,634	297	6,332	16	6,349	△111	6,238
セグメント損益	△30	△52	△59	△142	12	△129	—	△129

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損失であります。